

## 9 成人保健

いきいきとした高齢期を過ごすためには壮年期からの健康管理が大切です。特に死亡率の6割以上を占めている、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病対策が重要です。

鶴岡市では、健康増進法に基づく各種健康診査や健康相談をはじめ市民の健康づくりのための事業を実施しています。

### (1) 健康診査事業

(令和2年度予算額 195,947千円)

がん、心臓病、脳卒中、糖尿病などの生活習慣病の予防や早期発見のため、年1回必要な健診と健診結果に基づく指導を行い、働き盛りからの健康管理と老後の健康の保持に役立たせようとするものです。

#### ○健診種類

- ・胃・大腸がん集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・呼吸器（肺がん・結核）集団検診……………各地区公民館、コミセン等で実施
- ・子宮がん個別検診……………市内4医療機関で実施
- ・乳がん個別検診……………市内9医療機関で実施

(うち、乳房エックス線検査は7医療機関で実施します。)

- ・がん検診（人間ドック 胃・大腸・呼吸器・子宮・乳がん）市内5医療機関で実施
- ・骨粗しょう症検診……………市内5医療機関で実施
- ・肝炎ウイルス検査……………指定の日時・会場で実施
- ・歯周疾患個別検診……………県内委託医療機関で実施
- ・特定健康診査（基本健康診査に準ずる健診）

集 団……………各地区公民館、コミセン等で実施

個 別……………市内43医療機関で実施

人間ドック……………市内4医療機関で実施

#### ○委託料（税込）

(単位：円)

検 診 項 目		2 年 度	検 診 項 目		2 年 度
胃がん検診	集団	4,983	骨粗しょう症検診	人間ドック	3,178
大腸がん検診	集団	1,921	肺炎ウイルス検査	集団	3,300
子宮がん検診	集団	4,400	歯周疾患検診	集団・個別	5,022
	個別	6,992		男	14,165
乳がん検診	集団	1方向	がん検診 (人間ドック)	女(子宮)	17,781
		2方向		女(子宮、乳(1方向))	21,355
	個別	1方向		女(子宮、乳(2方向))	22,455
		2方向		特定健康診査	集団
肺がん検診	集団	読影	特定健康診査	個別(人間ドック含む)	10,076
		喀痰検査			
	ドック	喀痰検査			

※特定健康診査は基本項目、詳細項目すべてを実施した場合の委託料となります。

※がん人間ドック検診は該当する検診すべてを実施した場合の委託料となります。

○自己負担金

(単位：円)

検診項目		2年度	検診項目		2年度	
胃がん検診	69歳以下	1,000	骨粗しょう症検診	集団・人間ドック	500	
	70歳以上	200	肝炎ウイルス検査	41歳以上 69歳以下	300	
大腸がん検診	69歳以下	500		40歳・70歳以上	無料	
	70歳以上	100	歯周疾患検診	40・50・60歳	1,500	
子宮がん検診	69歳以下	1,200		70歳	無料	
	70歳以上	400	がん検診 (人間ドック)	男	6,300	
乳がん検診	69歳以下	1,200		女(子宮)	7,520	
	70歳以上	400		女(子宮、乳)	8,740	
呼吸器検診 (肺がん・結核)	読影	69歳以下	特定健康診査	64歳以下	1,500	
		70歳以上		無料	65歳以上(集団・個別)	300
	喀痰	69歳以下		600	65歳以上(人間ドック)	1,500
		70歳以上		200		

※生活保護世帯は、申請により全額免除されます。(人間ドックを除く)

※市町村民税非課税世帯は、申請により一部免除されます。(人間ドックを除く)

※特定健康診査の自己負担金は、加入する医療保険者によって異なります。

### ① 健康診査(基本健康診査に準ずる健診)

・健診の内容：問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、身体診察、血圧測定、  
 検尿(糖・蛋白)、糖尿病検査(空腹時血糖またはヘモグロビンA1c)、  
 脂質検査(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪)、  
 肝機能検査(AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP))、  
 心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査

・健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方  
 (令和元年度実績)

		生活保護	その他	計
受診者数(人)	集団	97	0	97
	個別	12	0	12
	ドック	8	0	8
	計	117	0	117
階層区分(人)	積極的	14	0	14
	動機づけ	9	0	9
	計	23	0	23

## ② 胃がん検診

- ・ 検診の内容：問診、胃部エックス線検査、胃内視鏡検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		49,693	48,023	47,249
受診者数 （人）	集 団	3,949	3,703	3,437
	ドック	12,289	11,968	11,573
	計	16,238	15,671	15,010
受診率	（%）	32.7	32.6	31.8
要精検者数	（人）	5,207	5,406	5,398
要精検率	（%）	32.1	34.5	36.0
精検受診者数	（人）	5,111	5,282	5,248
精検受診率	（%）	98.2	97.7	97.2
がんであった人	（人）	48	44	46

※精密検査の状況は、令和元年度については令和2年5月現在の数値。平成29・30年度については翌年度末までに報告のあったもの。

## ③ 大腸がん検診

- ・ 検診の内容：問診、便潜血検査（2日法）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		52,517	50,947	50,221
受診者数 （人）	集 団	6,724	6,643	6,497
	ドック	13,555	13,377	13,094
	計	20,279	20,020	19,591
受診率	（%）	38.6	39.3	39.0
要精検者数	（人）	1,540	1,467	1,448
要精検率	（%）	7.6	7.3	7.4
精検受診者数	（人）	1,258	1,113	1,060
精検受診率	（%）	81.7	75.9	73.2
がんであった人	（人）	42	38	35

※精密検査の状況は、令和元年度については令和2年5月現在の数値。平成29・30年度については翌年度末までに報告のあったもの。

## ④ 子宮がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、頸部細胞診
- ・ 検診対象者：20歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		40,374	39,805	39,108
受診者数 （人）	集 団	130	181	151
	個 別	4,298	4,135	4,154
	ドック	5,435	5,252	5,047
	計	9,863	9,568	9,352
2年連続受診者数（人）		7,239	6,822	6,625
受診率（%）		32.6	31.7	31.4
要精検者数（人）		185	152	123
要精検率（%）		1.9	1.6	1.3
精検受診者数（人）		161	129	105
精検受診率（%）		87.0	84.9	85.4
がんであった人（人）		7	1	5

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和元年度については令和2年5月現在の数値。平成29・30年度については翌年度末までに報告のあったもの。

## ⑤ 乳がん検診

- ・ 検診の内容：問診、視診、乳房エックス線（マンモグラフィ）検査
- ・ 検診対象者：40歳以上の偶数年齢の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		40,645	40,404	39,948
受診者数 （人）	集 団	193	216	142
	個 別	1,355	1,364	1,361
	ドック	3,033	3,099	2,785
	計	4,581	4,679	4,288
2年連続受診者数（人）		0	0	0
受診率（%）		23.7	22.9	22.4
要精検者数（人）		313	297	323
要精検率（%）		6.8	6.3	7.5
精検受診者数（人）		280	259	291
精検受診率（%）		89.5	87.2	90.1
がんであった人（人）		11	7	12

※受診率＝（「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷当該年度の対象者数×100（国、県の算出方法）

※精密検査の状況は、令和元年度については令和2年5月現在の数値。平成29・30年度については翌年度末までに報告のあったもの。

### ⑥ 呼吸器検診（結核・肺がん検診）

- ・ 検診の内容：問診、胸部エックス線検査、かく痰細胞診（ハイリスク希望者）
- ・ 検診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		52,434	51,567	50,873
受診者数 （人）	集 団	7,990	7,839	7,746
	ドック	13,561	13,337	13,053
	計	21,551	21,176	20,799
	かく痰検査	485	435	426
受診率（%）		41.1	41.1	40.9
肺がん に対する精査	要精検者数（人）	494	333	436
	要精検率（%）	2.3	1.6	2.1
	精検受診者数（人）	440	293	363
	精検受診率（%）	89.1	88.0	83.3
肺がん以外 の疾患に に対する精査	要精検者数（人）	457	428	405
	要精検率（%）	2.1	2.0	1.9
	精検受診者数（人）	194	130	145
	精検受診率（%）	42.5	30.4	35.8
がんであった人（人）		22（4）	9	14
結核であった人（人）		0	1	0

※精密検査の状況は、令和元年度については令和2年5月現在の数値。平成29・30年度については翌年度末までに報告のあったもの。

※がんであった人には、喀痰検査及び結核要精検でがんであった（）内の人数を含む。

### ⑦ 骨粗しょう症検診

- ・ 検診の内容：問診、骨塩定量検査
- ・ 検診対象者：40・45・50・55・60・65・70歳の女性の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
受診者数 （人）	集 団	95	111	66
	ドック	820	562	774
	計	915	673	840
要指導者数（人）		187	129	175
要精検者数（人）		217	110	211
要精検率（%）		23.7	16.3	25.1

### ⑧ 肝炎ウイルス検査

- ・ 検診の内容：問診、C型肝炎ウイルス検査、HBs抗原検査
- ・ 検診対象者：当該年度において40歳となる方又は41歳以上となる方で、過去に当該検診に相当する検診を受けたことがなく、本検診の受診を希望する方  
(令和元年度実績)

	40歳総合検診(人)	集団検診(人)	計(人)
受診者	117	250	367
C型肝炎感染疑い	0	0	0
B型肝炎陽性	0	1	1

### ⑨ 歯周疾患検診

- ・ 検診の内容：問診、歯周組織検査
- ・ 検診対象者：40・50・60・70歳の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
対象者数(人)		7,032	7,089	7,014
受診者数 (人)	集団	78	149	106
	個別	208	176	200
	計	286	325	306
受診率	(%)	4.1	4.6	4.4
要精検者数	(人)	222	229	206
要精検率	(%)	77.6	70.5	67.3

### ⑩ 人間ドック

- ・ 健診の内容：特定健診、がん検診(胃・大腸・肺・子宮・乳)、その他検査
- ・ 健診対象者：40歳以上の市民で、他で受診する機会のない方

		29年度	30年度	元年度
1日	男	6,093	6,098	5,932
	女	7,107	7,092	6,821
	計	13,200	13,190	12,753
1泊	男	433	412	389
	女	117	118	114
	計	550	530	503
合計		13,750	13,720	13,256

## ⑪ 健康診査受診意向調査

市等で実施する各種健康診査の対象者がいる全世帯に対し、種別ごとにどのように受診するのかを把握する調査で、12月に実施しています。

	29年度	30年度	元年度
対象世帯数	45,648	45,660	45,725
提出世帯数	15,380	14,867	14,472
提出率(%)	33.7	32.6	31.7

※提出世帯数は各年度1月31日現在数値。

※登録制としたため、提出人数は掲載しない。なお提出は、人間ドック希望者及び登録情報に変更がある場合のみ。

## (2) 成年期の健康診査事業

(令和2年度予算額 3,885千円)

生活習慣の変化により、若年層からの健康管理が重要であることから、40歳未満で他に健診機会のない方を対象に、自分や家族の健康管理の第一歩として健康の自己管理能力を育む支援を行うものです。

### ① さわやか健診

- ・健診回数：一般 レディース健診 6回、メンズ健診 3回 未受診者健診 5回
- ・検査項目：健康診査（特定健診と同じ項目：眼底検査を除く）
- ・健診時に全員に保健指導を実施
- ・レディース健診では一時保育を実施（一時保育利用46人）

(令和元年度実績)

		健康診査	
		レディース	メンズ
受診者数(人)		371	214
判定区分 (人)	要指導	166	79
	要医療(要精検)	94	104
	治療中	10	11
要指導・要医療(要精検)率(%)		70.1	85.5

## (3) 後期高齢者医療保険健康診査事業

(令和2年度予算額 95,633千円)

山形県後期高齢者医療広域連合からの受託事業で、被保険者に係る糖尿病等の生活習慣病の早期発見、医療費適正化を図るために健康診査を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、  
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、  
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、  
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)）、  
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査

- ・健診対象者：鶴岡市に住所を有する被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち各年度4月1日時点で加入している方）

（実績：令和元年度は翌年4月受付分まで、平成29・30年度は実績値）

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		22,204	22,201	22,603
受診者数 （人）	集団	2,178	2,234	2,240
	個別	2,769	2,684	2,649
	ドック	2,934	3,181	3,016
	計	7,881	8,099	7,905
受診率（%）		35.5	36.5	35.0

#### （4）特定健康診査・特定保健指導事業（令和2年度予算額 132,989千円）

※国保年金課国保医療係・健康課成人保健係

鶴岡市国民健康保険が被保険者の適切な健康管理を図るために、生活習慣病の予防に着眼した健康診査及び健康診査の結果により健康の保持に努める必要がある者に保健指導を実施するものです。

- ・健診の内容：問診、身体計測（身長・体重・腹囲）、身体診察、血圧測定、  
検尿（糖・蛋白）、糖尿病検査（空腹時血糖またはヘモグロビンA1c）、  
脂質検査（LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪）、  
肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP)）、  
心電図検査、眼底検査、貧血検査、腎機能検査
- ・健診対象者：年度中に40歳以上となる被保険者のうち、施設入所等の除外者規定に該当しない方（下記の対象者は、上記のうち一年間通して加入している方）

（実績：令和元年度は翌年4月受付分まで、平成29・30年度は法定報告値）

		29年度	30年度	元年度
対象者数（人）		21,140	20,507	20,174
受診者数 （人）	集団	3,192	3,164	3,066
	個別	130	101	116
	ドック	7,526	7,324	6,842
	計	10,848	10,589	10,024
受診率（%）		51.3	51.6	49.7
階層区分 （人）	積極的	332	318	282
	動機づけ	847	830	776
	計	1,179	1,148	1,058

※特定保健指導状況：①荘内病院人間ドックは市直営実施。②特定健診委託機関のうち4機関（健康管理センター・協立病院・みやはらクリニック・斎藤胃腸クリニック）にて実施。③実施内容：180ポイントの個別支援のプログラムにて実施（初回面接、継続支援（個別面接・電話支援・支援レター）、3ヵ月後評価 ※29年度は6ヵ月後評価）



年度	積極的支援			動機付け支援			合計		
	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率	対象者	実施者	実施率
元年度	282	44	15.6%	776	296	38.1%	1,058	340	32.1%
現在実施中の者		14	5.0%		59	7.6%		73	6.9%
30年度	318	81	25.5%	830	387	46.6%	1,148	468	40.8%
29年度	332	64	19.3%	847	350	41.3%	1,179	414	35.1%

令和元年度の実施状況は令和2年4月受付分までの数値

※平成29・30年度の実施状況は法定報告値（毎年度10月に確定）

## (5) 健康教育・健康相談事業

(令和2年度予算額 1,978千円)

### ① 健康教育事業

健康教育は、生活習慣病の予防などの健康に関する正しい知識を広めることによって「自らの健康は自らがつくる」という認識と自覚を高め、「健康の自己管理能力」を育成することによって壮年期からの健康づくりを促進するものです。

- ・内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に実施するほか、全市的な事業として医師・保健師・栄養士・健康運動指導士などを講師に健康講座の開催や健康づくりについての研修を行うものです。

- ・対象者：40歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		29年度	30年度	元年度
歯周疾患	活動回数(回)	29	22	23
	人数(人)	697	433	539
ロコモティブ シンドローム*	活動回数(回)	256	227	165
	人数(人)	6,165	5,727	3,908
病態別	活動回数(回)	34	122	73
	人数(人)	860	2,011	1,531
薬	活動回数(回)	3	5	0
	人数(人)	201	106	0
一般	活動回数(回)	1,099	944	504
	人数(人)	38,428	25,909	11,092

\*運動器症候群

### ② 健康相談事業

健康相談は、心身の健康についての個別の相談に応じた必要な指導や助言を行い、家庭における健康管理に役立てていただくものです。

- ・内 容：各地区公民館やコミュニティセンターなどを会場に、保健師が中心となって生活習慣病の予防などについての健康相談や医師、栄養士、歯科医師などの協力を得て、糖尿病予防、食生活改善、歯周疾患予防、寝たきり予防などの健康相談を行うものです。

- ・対象者：40歳以上の市民及びその家族

(実施状況)

		29年度	30年度	元年度
重点健康相談	活動回数(回)	555	303	330
	人数(人)	571	620	639
総合健康相談	活動回数(回)	1,366	1,201	1,853
	人数(人)	4,648	13,567	13,606
計	活動回数(回)	1,921	1,504	2,183
	人数(人)	5,219	14,187	14,245

### ③ ヘルスアップ事業

ヘルスアップ事業は、生活習慣病の一次予防として、個別健康支援プログラムの実施を行い市民の健康増進、医療費の伸びの抑制を図るとともに、健康づくり推進の担い手である健康づくりサポーターの組織育成・活動支援を行なうものです。

#### (1) ヘルスアップセミナー

肥満等の生活習慣病の危険因子を有する方に対し、個人の健康度や体力に基づいた個別支援や疾病・食生活等の講義、運動指導を実施し生活習慣改善と健康づくりサポーターとしての育成を図ります。

・対象：40歳～69歳で以下の条件に1つ以上該当する方

①BMIが24.0～30.0の方

②腹囲が基準値以上（男性85cm・女性90cm以上）の方

・実施内容：体重の減少を目的とした運動・食事指導を2週1回(合計8回)12週間行なう個別健康支援プログラム（2コース：夜コース・午前コース）

※詳細は以下のとおり

(令和元年度実績)

	夜コース	午前コース
開催場所	総合保健福祉センター にご♥ふる	
開催期間	5月30日～8月22日	9月11日～12月5日
受講人数	45人	21人
参加状況	83.9%	95.8%
修了人数	38人(84.4%)	21人(100.0%)

#### (2) スーパー健康づくりサポーター組織育成・活動支援

- ① ヘルスアップセミナーへの運営協力
- ② 情報誌の企画・作成（年1回発行）
- ③ 健康づくりサポーターのつどい企画運営など
- ④ 市民健康のつどい等による健康づくりについての啓発活動

#### ④ 若年期への保健指導

若年期からの健康づくりを推進し、市民の生活習慣病予防および健康管理に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するものです。

○さわやか健診時保健指導

- ・対象：さわやか健診を受診した者
- ・内容：スマートイート（かしこい食べ方）・試食、個人相談、（女性のみ運動体験）

○3か月後保健指導及び糖尿病精密検査受診勧奨（令和元年度実績）

- ・対象：さわやか健診を受診した男性肥満者（腹囲 85 cm以上または BMI25 以上の者）78 人、糖尿病精密検査対象の男女 21 人及び腎機能低下精密検査対象者 2 名
- ・内容：電話による保健指導、糖尿病及び腎機能低下精密検査受診勧奨

#### (6) 糖尿病予防対策事業（令和 2 年度予算額 4,425 千円（国保 4,425 千円））

増え続ける糖尿病の予防対策の一環として、「糖尿病精密検査回報書」を活用した精密検査の受診勧奨を行うと共に、未受診者に対して訪問指導やハイリスク者に対しセミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化の防止を図ります。

##### ① 糖尿病予防対策事業（回報書の活用）

特定健診で要精検となった方の結果を把握し、ハイリスクの方に対して生活習慣の改善を図り、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- ・対象者：40～69 歳の国保加入者（途中加入、生保者を含む）で、特定健診を受診した方（一泊ドックを除く）
  - ・精検対象者：空腹時血糖 110mg/dl 以上又はヘモグロビン A1c（NGSP 値）6.0%以上
- ※定期受診や治療中を除く。

（血糖検査・精密検査受診状況）

年次推移状況	血糖検査受診者数	精検対象者数	要精検率 (%)	精検受診者数	精検受診率 (%)
29 年度	7,834	1,043	13.3	733	70.3
30 年度	6,995	874	12.5	662	75.7
元年度*	6,618	860	13.0	546	63.5

※令和元年度精検結果：令和 2 年 5 月末現在の糖尿病精密検査回報書の返信があったもの。  
平成 29・30 年度については、翌年度末までに返信のあったもの。

（精密検査受診結果内容）

30 年度	正常	境界型	糖尿病型	記載なし	回報書の返信なし	他疾患	計
人数 (人)	155	223	158	31	92	3	662
割合 (%)	23.4	33.7	23.9	4.7	13.9	0.5	100.0

※精検結果は、翌年度末までに回報書が返信されたものでまとめるため、平成 30 年度分を掲載。

## ② 糖尿病重症化予防訪問指導事業

受診翌月に対象者把握ができる特定健診データ管理システムを利用し、精密検査未受診者に対し受診勧奨を目的に訪問指導を実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

○訪問指導対象者：特定健診データ管理システムにおいて、当該月に国保連に特定健診受診の報告があった者のうち、下記に該当し精密検査回報書が発行されたもので、受診3か月後に回報書の返信がないもの

- ・年齢：40歳～69歳
- ・検査結果：空腹時血糖 110mg/dl 以上あるいはヘモグロビン A1c (NGSP 値)6.0%以上（定期受診を含む、治療中を除く）

		回報書 発行者	3か月後 回報書 返信あり	訪問指導 対象者	受診勧奨結果		受診勧奨（延数）		
					受診あり	未受診	訪問 面接	電話	その他 通知等
30年度	人数	874	374	500	201	299	39	213	298
	率(%)	100.0	42.8	57.2	40.2	59.8			
元年度	人数	860	342	518	243	275	22	188	307
	率(%)	100.0	39.8	60.2	46.9	53.1			

※受診勧奨結果は令和2年5月末現在において回報書の返信、また訪問指導事業で把握した数値。

## ③ 糖尿病予防セミナー

高血糖者及び医療通院者に対し、食事・運動を主体とした体験型セミナーを実施し、糖尿病の発症や重症化を予防します。

- 対象者：
- ・「糖尿病精密検査回報書」を発行した概ね70歳未満の者（精密検査を受診し異常なしの者は除く）
  - ・医療通院者で医師が食事及び運動指導が必要と認めた者

○内 容：(1) 2回の短期実践型プログラムのセミナー開催

- ①講義：糖尿病の病態と合併症（糖尿病専門部会医師）
- ②スマートイートによる体験学習（管理栄養士、食改推進員）  
講義：食事量の目安、食べ方について
- ③講義と運動実技：運動の必要性、運動量の目安（健康運動実践指導者）
- ④講義：検査値と身体つながり（保健師）

(2) 3か月後支援レター送付、6か月後アンケートによる評価

○開催場所：総合保健福祉センター にこ♥ふる 栄養指導研修室・健診増進ホール

（実施状況）	6月コース	9月コース（夜）	1月コース	計
開催日	6/5、6/26	9/5、9/27	1/22、2/12	各2回
受講人数	23人	9人	10人	42人
参加状況	89.1%	77.7%	95.0%	87.3%（平均）

## ④ 糖尿病予防フォローセミナー

糖尿病予防セミナー受講後も望ましい食・運動行動の定着化を目指すものです。

○日 時：令和元年 11 月 13 日（水） 10：30～14：15

○対象者：平成 30 年度受講者 64 人

○内 容：味覚チェック、食事、運動の講話と実技（保健師、栄養士、健康運動指導士）

○受講者：19 人

## (7) 訪問指導事業

（令和 2 年度予算額 415 千円） ※健康課成人保健係

介護予防の観点から支援の必要な方、及び健康診査の結果で指導が必要と認められた方や家族に対して、保健師や看護師が訪問して保健指導を行い、心身の機能低下防止と健康の保持増進を図るものです。

（単位：人）

		29 年度		30 年度		元年度	
		訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数	訪問実人数	訪問延人数
要指導者	40～64 歳	132	232	136	189	138	172
	65 歳以上	128	199	128	152	104	114
	計	260	431	264	341	242	286
閉じこもり予防	40～64 歳	0	0	2	4	0	0
	65 歳以上	6	6	12	16	4	5
	計	6	6	14	20	4	5
介護家族者	40～64 歳	1	2	0	0	0	0
	65 歳以上	2	2	2	3	3	3
	計	3	4	2	3	3	3
寝たきり者	40～64 歳	0	0	0	0	0	0
	65 歳以上	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
認知症高齢者	40～64 歳	0	0	0	0	0	0
	65 歳以上	14	22	9	18	8	11
	計	14	22	9	18	8	11
その他	40～64 歳	42	55	23	34	29	41
	65 歳以上	120	151	30	37	103	148
	計	162	206	53	71	132	189
口腔衛生指導(再掲)		0	0	0	0	0	0
計	40～64 歳	175	289	161	227	167	213
	65 歳以上	270	380	181	226	222	281
合 計		445	669	342	453	389	494

**(8) がん検診受診率向上対策事業**

(令和2年度予算額 8,157千円)

死亡原因第1位のがんから市民を守るため、特に40～50歳代の働き盛りの受診環境の整備を図り、早期発見・早期治療に有効ながん検診の受診率向上を図るものです。

**○受診環境の整備**

- ①40歳総合健診 ②日曜日がん検診 ③障害者通所施設健診  
④土曜日検診

**① 40歳総合健診**

健診元年にあたる、40歳を迎える市民を対象に総合的な健康診査を行うことで、健康管理の大切さの自覚を高め、働き盛りの年代の早世を予防するものです。就労時間を考慮し早朝に実施します。

- ・健診項目：特定健康診査、各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査

- ・総合健診受診者（令和元年度実績）

対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
1,412	117	8.3

- ・各種がん検診、歯周疾患検診、肝炎ウイルス検査（40歳のみ）（令和元年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診	骨粗鬆 症検診	歯周疾 患検診	肝炎 ウイルス 検査
受診者数(人)	114	106	107	66	65	66	106	117
要精検者(人)	5	7	5	2	6	0	73	0
要精検率(%)	4.4	6.6	4.7	3.0	9.2	0	68.9	0

**② 日曜日がん検診**

平日、仕事等で都合がつかずがん検診を受診できない、主に働き盛りの年代に焦点をあて、日曜日にがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和元年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診	子宮がん 検診
受診者数(人)	152	194	203	62	85
要精検者(人)	3	7	11	5	1
要精検率(%)	2.0	3.6	5.4	8.1	1.2

### ③ 障害者通所施設健診

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の検診とは別に障害者に配慮した健診体制を整備し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和元年度実績）

	肺がん 検診	大腸がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	222	99	15
要精検者(人)	9	7	3
要精検率(%)	4.1	7.1	20.0

### ④ 土曜日検診

全国健康保険協会（協会けんぽ）等の被扶養者を対象に、特定健診未受診者健診の場を利用し、併せて市のがん検診を実施するものです。

- ・各種がん検診（令和元年度実績）

	肺がん 検診	胃がん 検診	大腸がん 検診	子宮がん 検診	乳がん 検診
受診者数(人)	112	0	104	0	0
要精検者(人)	6	0	1	0	0
要精検率(%)	5.4	0	1.0	0	0

## ○啓発事業

### ① がん検診受診向上対策キャンペーン

広く市民への受診啓発を図り、地域全体のがん検診受診向上をより一層推進するものです。

<庄内南部・庄内北部定住自立圏での合同実施（鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町・遊佐町）>

- ・日 時 令和元年 10 月 5 日(土)
- ・場 所 イオンモール三川
- ・内 容 受診啓発グッズの配布、がん検診に関するクイズ、ポスター・パネル展示、測定機器による健康チェック

※庄内保健所主催「いきいき健康フェア 2019」との合同開催

- ・啓発者数 1,727 人

<市単独実施>

- ・日 時 令和元年 10 月 19 日(土)
- ・場 所 鶴岡大産業祭り展示会場（鶴岡市小真木原総合体育館第 2 多目的ホール）
- ・内 容 受診啓発グッズの配布
- ・啓発者数 497 人

**(9) がん患者医療用ウィッグ購入費助成事業**

(令和2年度予算額 1,360千円)

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の維持向上のため、がんの治療に伴う外見の悩みや経済的負担を軽減する観点から、医療用ウィッグ購入費の助成を行うものです。  
助成金の額：2万円又は医療用ウィッグ購入経費の2分の1の額のいずれか低い額

	29年度	30年度	元年度
助成件数	56	42	66

**(10) 障害者に対する施策****① 障害者通所施設健診**

障害者の生活習慣病予防及び健康の保持と増進を図ることを目的に、一般の健診とは別に健診日を設定し、通所施設に就労する障害者に対し集団健診を実施するものです。

・検査項目：健康診査（39歳以下は眼底検査を除く）

がん検診（肺がん・大腸がん・乳がん）

※がん検診については、「がん検診受診率向上事業」に掲載

(令和元年度実績)

受診者(人)		健康診査		計
		男	女	
39歳以下(さわやか健診)		95	68	163
40歳以上	生活保護受給者等	31	18	49
	国民健康保険加入者	92	73	165
	後期高齢者医療保険加入者	12	13	25
	*他の医療保険加入者	15	15	30
合計		245	187	432

※健康診査費については、各事業費より支出(\*は除く)

**(11) 中学生胃がん予防事業**

(令和2年度予算額 2,288千円)

胃がん発生の95%以上原因とされるヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)感染者を早期に発見し、胃の萎縮が進む前の感染後間もない中学生の時期に除菌治療を行うことで子ども達の将来の胃がん発生を予防し、胃がんの撲滅を目指します。

一次検査：学校定期健康診断の検査尿を活用したピロリ抗体検査

二次検査：一次検査陽性者の医療機関受診による尿素呼気試験

除菌治療：二次検査陽性者の内薬治療

成功確認検査：尿素呼気試験による除菌治療の成功、不成功の確認

対象者：中学2年生



	29年度	30年度	元年度
対象者（人）A	1,118	1,069	1,062
同意者（人）B	791	749	900
同意率（%）C=B/A	70.8	70.1	84.7
一次検査受診者（人）D	791	749	899
一次検査陽性者（人）E	55	66	62
一次検査陽性率（%）F=E/D	7.0	8.8	6.9
二次検査受診者（人）G	55	55	56
二次検査陽性者（人）H	41	27	39
二次検査陽性率（%）I=H/G	74.5	49.1	69.6
一次検査受診者に対する陽性率（%）（真の陽性率）J=H/D	5.2	3.6	4.3
除菌治療実施者（人）K	41	27	38
成功確認検査完了者（人）L	40	24	27
除菌成功者（人）M	39	21	26
除菌成功率（%）N=M/L	97.5	87.5	96.3

※令和2年5月末現在